

学校の動物を使つての「ふれあい授業」への教師と児童の感想

中川美穂子

1 愛知県小牧市で

本年度から教育委員会が獣医師会に「学校の飼育支援事業」を委託するため、地域獣医師会の実習として、小牧市立小牧南小学校で飼育委員会への「飼育導入授業=動物ふれあい授業」を支援し要点をお伝えしてきました。

動物の気持ちと抱き方の話しは、最初の10分で収めます。あと5分ほど、心臓の音の話しをします。

(1) 最初の話しのポイント

- ・飼育の目的を子ども達と先生に話す。
- ・動物は自然では、糞と一緒に生活しないきれい好き。今は自分では掃除できない小屋にいる。
- ・人間は一日3回食べる。動物だってお腹がすくので、朝に餌と水を与え、午後にきれいに掃除して、また餌と水を与える。水容れをこすって洗う。
- ・休日もお腹がすく。命に休みはないので保護者と一緒に世話をして。
- ・動物は口がきけないから、人の方で「何をして欲しいと思っているか」、顔を見て考えてあげる。
- ・動物は人をとても怖がっている。怖がっている動物達が安心するように、優しい気持ちでそつと抱かせてもらう。

(2) 補佐の要点

- ・正座した子どもの膝にバスタオルを半分に折ってかけて、その上に動物を置いてあげる。
- ・動物（多くはウサギ）が暴れる時は、補佐が抱いてなだめ、動物の恐怖を収めて、「大丈夫」と動物に語りかけながら、子どもに「優しく抱いて」と優しい抱き方、なぜ方などを体で伝える。
- ・それでも暴れる時は、ウサギを半分に折って2重にしたバスタオルで、顔だけだしてくるむと、安心して暴れなくなる。（赤ちゃんをお風呂に入れるときと同じで、体が安定するらしい。）子どもに顔から頭をなぜさせる。落ちついたら背中もなぜさせる。

2 授業後、担当獣医師がもらった手紙

(1) 先生からの手紙

*児童にとって、専門の先生から話を聞き、疑問に思っていることを教えていただいたことは、とても良い勉強になったと思います。また、今年から飼育委員会の担当になった私にとって

も、大変勉強になりました。今回ご指導いただいた、雌雄を別にし、計画出産させることや飼育舎の床の問題点など、できることから改善していきたいと思います。

*日頃の学校生活の中で、うさぎの世話をただ単に子供と一緒にしていました。うさぎの世話をすることは、しゃべることのできないウサギの気持ちを考えること、それがひいては、人とのコミュニケーションの基礎につながっていくのだということに初めて気がつくことができました。人とウサギの両方ができるだけ幸せになれるよう、教師のできることに、子供たちのできることを考える機会にもなりました。

ウサギをだっこすることは、飼育委員会の子たちも日頃していませんので、とても良かったと思います。獣医師の先生がサポートして下さいましたことでもあり、こちらも不安なく見守ることができました。飼育担当とは名ばかりで、何の知識もありません。オス、メスの見分け方も初めて知りました。これからはいろいろご指導をお願いいたします。

*獣医の方たちと一緒に話を聞いたりウサギとふれ合ったりするという機会は初めてで不安もありましたが子供たちは場の雰囲気ですぐに慣れ、真剣に楽しく取り組みとても良い会だったと思います。また、獣医さんともつながりが持て、今後ウサギについて安心して気軽に相談することができるような気持ちになりました。お忙しい中、本当にありがとうございました。

(2) 飼育委員（5・6年）からの手紙

*今回、わたしは、いろんな話を聞いて、うさぎの、気持ちとかいろいろわかりました。じつはわたしの家でも、うさぎをかっていて、あまり、なかがよくなって、あのときににたような質問をして、その、言った通りにやってみたら、うちのうさぎともなかがよくなりました。ほんとうにありがとうございました。

*ウサギの正しい持ちかた/ウサギのオスメスの見わけかた（睾丸がついている方がオスついていないほうがメス）/ウサギがなる病気/ウサギがうれしくなる方法などいろいろなことを教えていただいてよかったです。

*ウサギをあまりおいかけないと教えていただいて思いました。僕は低学年に兎とふれあわせる「解放」の時にウサギをおいかけてしまいウサ

ギをこわがらせてしまいました。だからこれからはあまりおいかけないと思いました。

*金よう日は、すごい意味の時間でした。いろいろなことを教えてもらったからです。ぼくは飼育委員会を2年間やっていますしウサギなどの動物が好きなのでとてもうれしかったです。ウサギの心ばく数が1分間に200以上あると言うことやいろんなことを教えてもらいました。機会があればまたきてほしいです。ちゃんと質問にも答えてもらい本当にうれしかったです。

*ウサギと仲良くするには、気持ちが大事とわかったときとてもうれしかったです。

ウサギをなでるとき、すこしこわかったけれど、さわったらなにもしなかったのでよかったと思います。ぼくが質問『穴からの出し方』を出したとき、『ウサギが穴に入ったら、とても出せない。あきらめなさい』と言われたとき、『たしかに』と思いました。ありがとうございます。

*私は、動物がとても大好きです。私は、昔ウサギにかまれたことがあって、『ウサギはきょうぼうなのかなあ』と思ってしまい、飼育委員になったことが不安でした。でも今日の話聞いて分かりました。『悪かったのは私達のことだったんだな。』そう思いました。そしてこの話を聞いて、私はもっとウサギを好きになりました。オス・メスの見分け方も分かったし、とてもよい機会だったと思いました。これからはもっとウサギと仲良くなって飼育小屋に入ったら、ウサギがとびらの前でまわってほしいです。

*金曜日、いろいろなことをおしえてくれてありがとうございます。土、日と飼育をやりにいきえさをすぐにたべていました、そのあとウサギがにげなくなりました。やっぱり毎日せわをしないといけないと思いました。これから土、日、祝日の時もいきえさや水をあげたりふんとったりしてウサギがにげないようにしたいです。

*このまえのお話をきいて、うさぎはどんな特ちょうがあるかがわかりました。うさぎのほかに犬やチャボの特ちょうもわかりました。うさぎはふんなどを、どこにするかで、うさぎがどう思っていたりするのかわかってすごいと思いました。うさぎの正しい持ち方をして、うさぎがいい生活できるようにしてあげたいです。

*ぼくは委員会で、とてもうさぎについてよく分かりました。たとえばうさぎの病気の前に

おこることや、病気についてよく分かりました。これからは習ったことを生かして、委員会で、もっとやくにたてたいし、うさぎともっとふれあいたいです。それにもっとみんなにうさぎについて知ってもらいたいです。

*このあいだの学校にいる動物と仲良くなれる方法を教えてくださってありがとうございます。ウサギのオスとメスの、見分け方がわかったので、もし機会があればオスとメスをわけて、1年に一回交尾させることなどのことをしたいです。プロジェクターの写真でやってくださり、よい例や悪い例を教えてくださいましたので、とてもわかりやすかったです。ありがとうございました。

*わたしはうさぎのことはなにもわからなかったのでおしえていただきありがとうございます。わたしはとくに、うさぎのオス・メスの見わけかたがわからなかったのをそのことをおしえてもらってわたしは、ほんとうにかんしゃしています。ぜひまた、くるきかいがあったらいろいろおしえてください。

*うさぎや動物のせっしかたやなぎごえやオス・メスの見分けかたをおしえてくれてほんとうにありがとうございます。ぼくは、うさぎの事も動物が大好きです。心臓をはかったときに校長先生は、ゆっくりめで小学生は校長先生より早いとうさぎより早くなかった事もしりませんでした。ぼくは人のほうが早いと思っていました。

*うさぎの鳴き声やオス、メスの見分け方など分かりやすく教えていただいて、とてもすごいなと思います。わたしはうさぎが大好きなのでもっと勉強して何か言われても、すぐに答えられるようにしていきたいです。でも、わたしには1つだけできないことがあります。それはうさぎをつかまえるのがこわいのでがんばりたいです。この前は本当にありがとうございます。

*オス、メスの見分け方やうさぎをだっこしたりしてとても楽しかったです。教えてもらって一番びっくりしたことがあります。それはうさぎの鳴声のことです。わたしは、うさぎは鳴かないと思っていたけれどちがってびっくりしました。分からないことがすこし分かってとってもうれしいです。

(全国学校飼育動物獣医師連絡協議会 主宰)